

# 丹波市市民活動支援センターだより vol.3

市民活動支援センターは、「地域づくり事業支援」「社会教育・生涯学習活動の支援」「市民活動連携」、これら3つの拠点としての機能を備えています。行政とも連携し、共に手を携えて地域の取り組みを後押しする両輪となるべく活動しています。

## 活動報告 01 【市民活動連携】 市民活動の第一歩をサポートする取り組み

センターの窓口では、市民活動に関わる皆さまからの相談をお受けしています。内容は多岐に渡りますが、中には「こんなことをやってみたいのだけど…」といった、これから活動を始めようという段階での相談もあります。今回はそんな相談の中から、実際に活動の第一歩に繋がった事例をいくつか紹介します。

「たんぼぼの会」は、がん患者同士やその家族との交流サロンを開いている団体です。以前は病院の協力のもと定期的に開催されていましたが、コロナの影響で休止。以降再開される目途が立たないため、自分たちで開催できないかと、センターに相談にいられました。

センターでは運営に対する助言や新聞社への繋ぎ、広報チラシ作成のサポートなどを行い、それを経て約3年ぶりのサロン再開に漕ぎ着けました。

9月8日、市民プラザを会場に第1回目のサロン「がんカフェ」が開催され、この日は10名の参加がありました。今後、継続して開催される予定です。

もうひとつ紹介する事例は、まだ団体としてではなく個人で活動されているケースです。

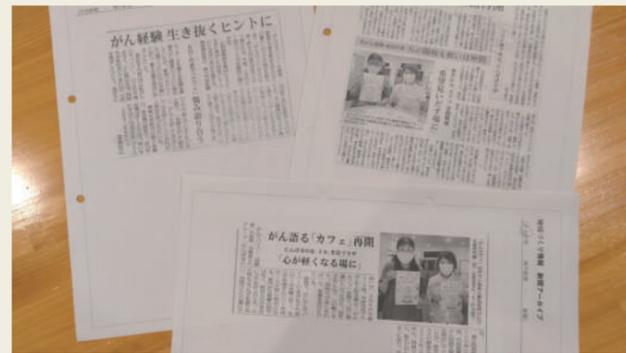
当初相談にいられた際は、NPO法人の立ち上げに関する相談でした。そこから何度かセンターでの相談を重ね

る中で、自身のやりたいことの方向性が徐々に具体化。その中で、初めから法人化を目指すのではなく、まずは任意団体として活動をスタートしそこから徐々に活動の輪を広げていく方向へとシフトしていきました。

9月には市民プラザを会場に、第1回目の読書会を開催。市民活動の第一歩を踏み出しました。

自身の思い描く活動の実現のためにはさまざまな手段がありますが、「市民活動」もその選択肢のひとつです。特にこれから活動を始めようという最初期の段階にあつては、そもそも相談する先がなく苦勞するケースもあるかと思えます。

皆さまの思い描く活動の第一歩に、ぜひ市民活動支援センターの相談窓口をご活用ください。



たんぼぼの会の活動は各社紙面に取り上げられた

## 活動報告 02

## 【地域づくり事業支援】 丹波市に新たな「地域おこし協力隊」が着任

9月1日、丹波市に新たな地域おこし協力隊が着任しました。今回の協力隊のミッションは、「自治協議会の支援を通じた、持続可能な地域づくり・住民自治の推進」。これから市民活動支援センターを拠点とし、センターの一員として一緒に活動していきます。主には、市とセンターが共同で進めている「地域の未来デザインプロジェクト（通称：ミライン）」を中心とした地域支援業務に従事します。

着任後、早速ミラインに取り組んでいる佐治、遠阪、神楽などの地域に入り、会議支援や広報紙作成のサポートを行いました。今後は、そのほかのミライン取組地域に加え、各自治協議会支援、地域コミュニティ活動推進員連絡会議などを通して地域に関わっていきます。

センターとしても、今後長きに渡って活躍してもらえるようサポートしながら、共に活動していきます。



協力隊が制作した「遠阪ミライン」の広報紙

## 活動報告 03

## 【社会教育・生涯学習活動の支援】 「ちいきのもやもや座談会」開催

9月12日（火）に新企画「ちいきのもやもや座談会 #1」を開催しました。今回のテーマは「地域のルール・決まりごと」。この座談会は、普段あまりゆっくりと話す機会がない“地域のこと”や“暮らしのこと”を取り上げ、テーマに関係深いゲストをお呼びし、少しもやもやしていることを、みんなでゆる～くお話しする場です。

今回は、『集落の教科書』のつくり方』著者の田畑昇悟さんをゲストにお呼びし、14名の参加者がそれぞれのもやもやについてお話ししました。参加者からは、「もやもやは増えたけれど、気が付いたことも増えた」「もやもやするの普段話せる機会がないから」という感想がありました。田畑さんからは『いつでも「〇〇すべき」はないはず。大事なことは誰もが納得できること。納得は対話することで生まれやすくなる』というコメントをいただきました。

詳細はポータルサイトをご覧ください。



## 今後の予定

- 10月25日（水）19:15-21:15 NPO・地域活動の資金調達セミナー
- 12月24日（日）10:00-18:00 丹波市市民プラザ大交流会 2023
- 1月27日（土）10:30-18:00 みんながセンセイ！みんなが生徒！たんばまなびのマルシェ

